

2009年3月期 第1四半期 決算短信添付資料（決算説明会資料）



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2009年3月期 第1四半期実績

業績ハイライト

海外たばこ事業におけるトップライン成長の継続に加えGallaherの連結等により、売上高、EBITDA、営業利益は増収・増益となったものの、為替差損等により、経常利益、四半期純利益は減益

(単位:億円)

	2008年3月期 第1四半期	2009年3月期 第1四半期	増減
税込売上高	12,197	17,198	5,000 (41.0%増)
税抜売上高	5,262	7,081	1,818 (34.6%増)
EBITDA	1,266	1,806	540 (42.7%増)
営業利益	933	1,104	171 (18.3%増)
経常利益	909	725	△ 183 (20.2%減)
四半期純利益	630	169	△ 461 (73.2%減)

【参考:のれんの償却影響を除く主要利益】

営業利益	937	1,372	435 (46.4%増)
経常利益	913	993	79 (8.8%増)
四半期純利益	634	436	△ 197 (31.2%減)

3



2009年3月期 第1四半期実績

国内たばこ事業

販売数量の減少に加え、販売促進費の増加等により、減収・減益

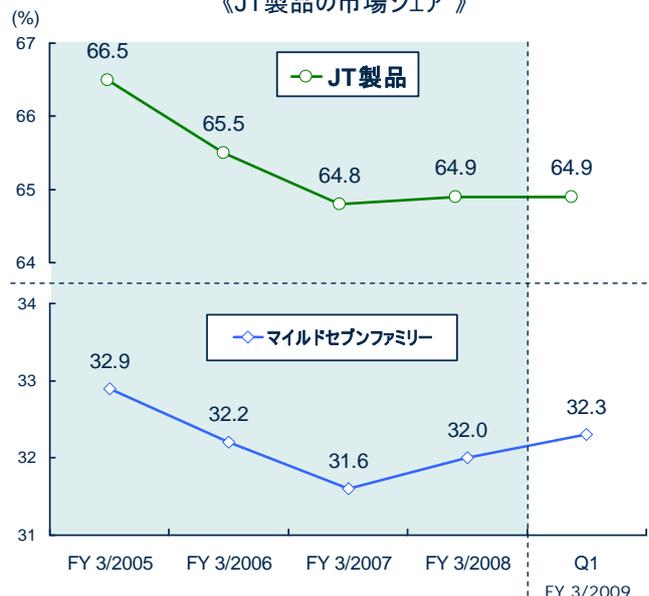
(単位:億円)

	2008年3月期 第1四半期	2009年3月期 第1四半期	増減
税込売上高	8,567	8,426	△ 141 (1.6%減)
税抜売上高 (除く輸入たばこ)	1,825	1,779	△ 46 (2.5%減)
EBITDA	826	755	△ 70 (8.5%減)
営業利益	624	558	△ 65 (10.6%減)

(単位:億本)

JT製品販売数量	427	420	△ 6 (1.5%減)
----------	-----	-----	----------------

《JT製品の市場シェア*》



* 新ベース=JTオリジナルブランド + JT1の国内向け製品(キャメル・ウinston・セラム等)

4



2009年3月期 第1四半期実績

海外たばこ事業

トップライン成長の継続に加え、Gallaherの連結等により、前年を大幅に上回る実績

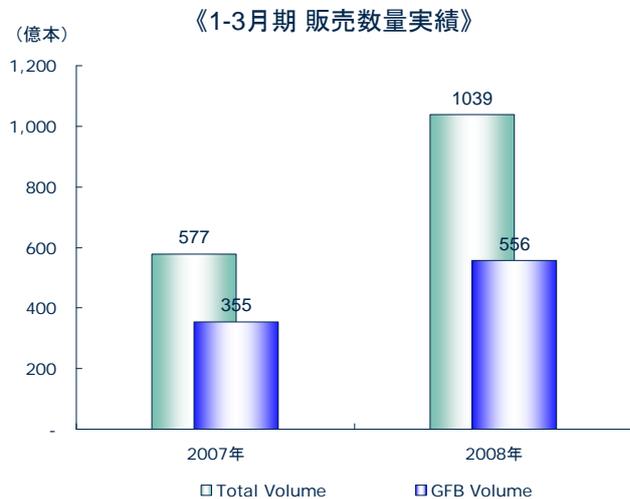
(単位: 億円)

	2008年3月期 第1四半期	2009年3月期 第1四半期	増減
税込売上高	2,725	7,433	4,708 (172.8%増)
税抜売上高 (除く物流事業)	1,502	2,600	1,097 (73.1%増)
EBITDA	379	947	567 (149.8%増)
営業利益	294	522	227 (77.3%増)

総販売数量(億本)	577	1,039	461 (79.9%増)
GFB販売数量(億本)	355	556	201 (56.6%増)
円ドルレート(円)	119.45	105.25	△ 14.20

(参考) JTへのロイヤリティー支払い前 (単位: 百万USD)

EBITDA	351	948	597 (169.8%増)
--------	-----	-----	------------------



Note: 海外たばこ事業実績は2008年1-3月期を連結

5



海外たばこ事業の販売実績(速報) 2008年1-6月期

海外たばこ事業

2008年1-6月期の販売実績および売上高(速報値)
(比較可能ベース)

(単位: 億本)

	2008年3月期*			2009年3月期		
	1-3月期	4-6月期	Total	1-3月期	4-6月期	Total
総販売数量	950	1,090	2,040	1,039 (9.4%増)	1,172 (7.5%増)	2,211 (8.4%増)
GFB販売数量	467	551	1,018	556 (19.1%増)	635 (15.4%増)	1,192 (17.1%増)
税抜売上高** (百万USD)	2,064	2,340	4,404	2,471 (19.7%増)	2,716 (16.1%増)	5,186 (17.8%増)
千本当税抜売上高** (USD)	21.7	21.5	21.6	23.8 (9.4%増)	23.2 (7.9%増)	23.5 (8.7%増)

* 2008年3月期(比較可能ベース): Gallaherの通年実績の理論値を含む
**物流事業を除いた売上高

6



2009年3月期 第1四半期実績

■ 医薬事業

ロシュ社に導出した「JTT-705」の開発の進展に伴うマイルストーン収入により、増収・増益

(単位:億円)

	2008年3月期 第1四半期	2009年3月期 第1四半期	増減
売上高	112	161	49 (43.7%増)
EBITDA	△ 21	30	52 -
営業利益	△ 29	21	51 -

JTT-705: 導出先のロシュ社においてPhase3に移行
(2008年4月同社公表)

JTK-303: 導出先のギリアド・サイエンズ社においてPhase3に移行
(2008年7月同社公表)

臨床開発品目(2008年7月31日現在)

開発名	適応症	開発段階
JTT-705(経口)	脂質代謝異常	国内: Phase2
JTT-130(経口)	高脂血症	国内: Phase2 海外: Phase2
JTK-303(経口)	HIV感染症	国内: Phase1
JTT-302(経口)	脂質代謝異常	海外: Phase2
JTT-305(経口)	骨粗鬆症	国内: Phase2 海外: Phase1
JTT-552(経口)	高尿酸血症	国内: Phase2
JTT-651(経口)	2型糖尿病	国内: Phase1
JTS-653(経口)	鎮痛、過活動膀胱	国内: Phase1
JTT-654(経口)	2型糖尿病	海外: Phase1



2009年3月期 第1四半期実績

■ 食品事業

加ト吉グループの連結により増収も、営業損益は経費の増加、原材料価格の高騰、のれん償却の影響等により営業損失を計上

(単位:億円)

	2008年3月期 第1四半期	2009年3月期 第1四半期	増減
売上高	739	1,126	387 (52.4%増)
EBITDA	25	18	△ 6 (26.5%減)
営業利益	13	△ 27	△ 41 -

商品の生産工場と主な原材料の産地をホームページ等を通じて公開

JT delight world
ジェイティフーズ

※ 2008年8月1日時点の製造情報を掲載しています
※ 商品の改定などにより、お手元の商品と異なる場合があります
詳細はお客先相談室までお問い合わせください

お弁当 大人気!
ミニ春巻



オイスターソース、XO醤、甜麺醤の本格中華の味が決めて！パリッと揚げたてのおいしさです。
芝麻醤(※)を加えて本格中華の味がさらにアップ!

※ 芝麻醤は、中華料理の代表的な調味料のひとつ。ご自宅を華やかに飾り、ペースト状になるまでゆめらかすりつぶしたおろしごまの調味料です。

● 内容量
6本入/150g

● 調理方法
電子レンジ

● 生産工場
JTグループ会社の2工場で生産しています。
サンバーク株式会社(茨城県)…製造所固有の記号A1
一品香食品株式会社(福岡県)…製造所固有の記号A2

● 原材料名
野菜(たけのこ、キャベツ、にんじん)、豚肉(国産・黒豚)、豚脂(国産)、穀状植物性たん白、水戻しいたけ、でん粉、しょうゆ、ごま油、オイスターソース、おろししょうが、米粉、砂糖、濃縮中華スープ、XO醤、魚介エキス、チキンエキス、ポークエキス、おろしにんにく、食塩、香辛料、ねぎごま、甜麺醤、酵母エキスパウダー、皮(小麦粉、植物油)、オリゴ糖、でん粉、粉末状植物性たん白、食塩)、揚げ油(パーム油)、乳化剤、着色料(カラメル、紅糖)、(原材料の一部にえびを含む)

● 使用した原材料のアレルギー物質
(厚生労働省が定めた5品目を対象としています)
小麦、えび、大豆、鶏肉、豚肉

● 主な原材料の産地

原材料	産地	備考
たけのこ	中国	
キャベツ	日本	
にんじん	日本	
豚肉	日本	国産黒豚肉
豚脂	日本	
水戻しいたけ	中国	
おろししょうが(しょうが)	日本	
おろしにんにく(にんにく)	中国	
小麦粉(小麦)	アメリカ、日本	原材料の産地は、使用割合の多い順に表示しています。詳細はお客先相談室までお問い合わせください。
ねぎごま	日本	芝麻醤



(参考) 2009年3月期 業績予想 (2008年5月1日公表)

■ 以下の理由から現時点で本決算時の見込は修正しない

- ◆ 国内および海外たばこ事業における特殊要因により数量実績が強めにでている
- ◆ 販売促進費等は通年でほぼ計画通り推移するとみている
- ◆ 為替市場の動向が引き続き不透明であることから想定為替レートは変更しない

(単位: 億円)

	2008年3月期 実績	2009年3月期 見込	増減
税込売上高	64,097	66,100	2,002 (3.1%増)
EBITDA	6,020	5,930	△ 90 (1.5%減)
営業利益	4,305	3,110	△ 1,195 (27.8%減)
経常利益	3,626	2,780	△ 846 (23.3%減)
当期純利益	2,387	1,480	△ 907 (38.0%減)
ROE(%)	11.8	7.7	△ 4.1pt
FCF	△ 14,937	2,650	17,587

(このスライドは空白です)

【参考資料】

2009年3月期 第1四半期実績における増減要因の分析



当資料取扱上の注意点

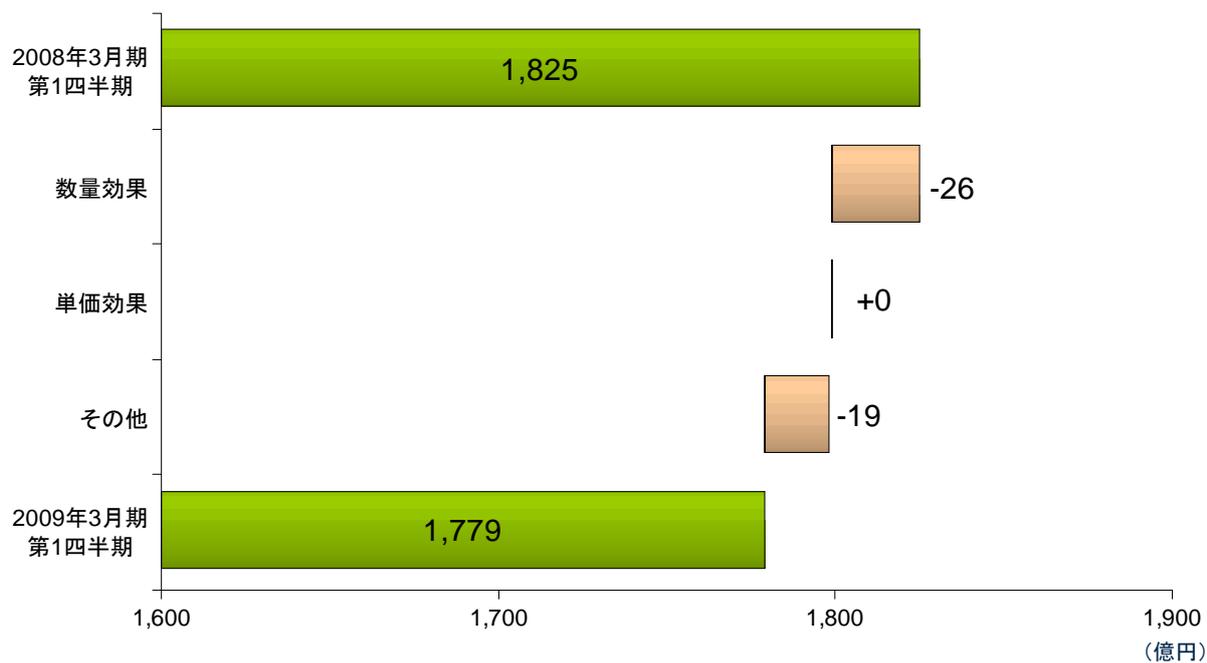
将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2009年3月期 第1四半期 実績

国内たばこ事業 税抜売上高（輸入たばこを除く）

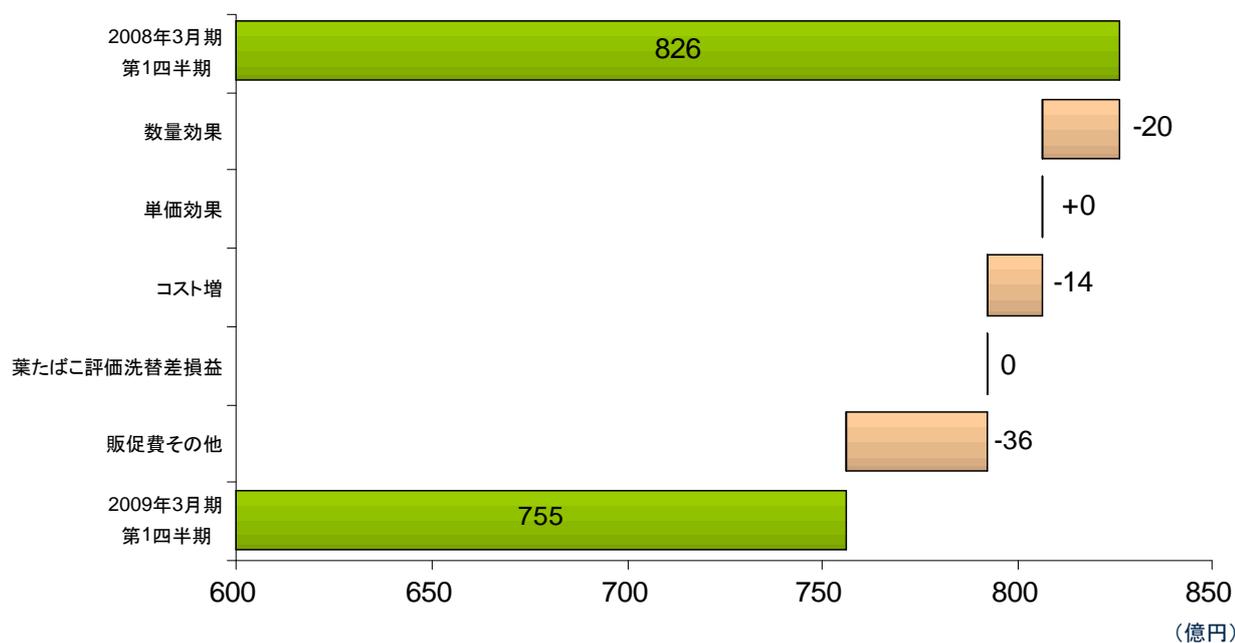


13



2009年3月期 第1四半期 実績

国内たばこ事業 EBITDA

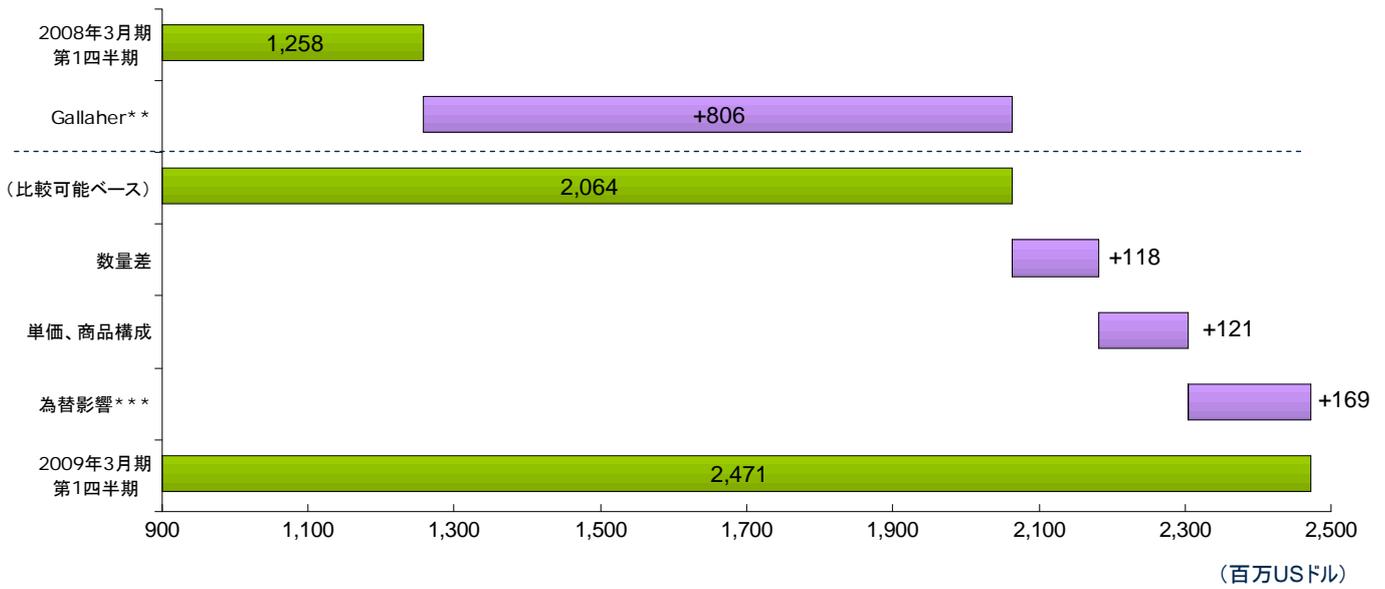


14



2009年3月期 第1四半期 実績

海外たばこ事業 税抜売上高*



(参考)セグメント情報ベース

海外たばこ事業税抜売上高* 1,502億円 → 2,600億円 (1,097億円増)

* Gallaherより承継した物流事業の売上高は除く

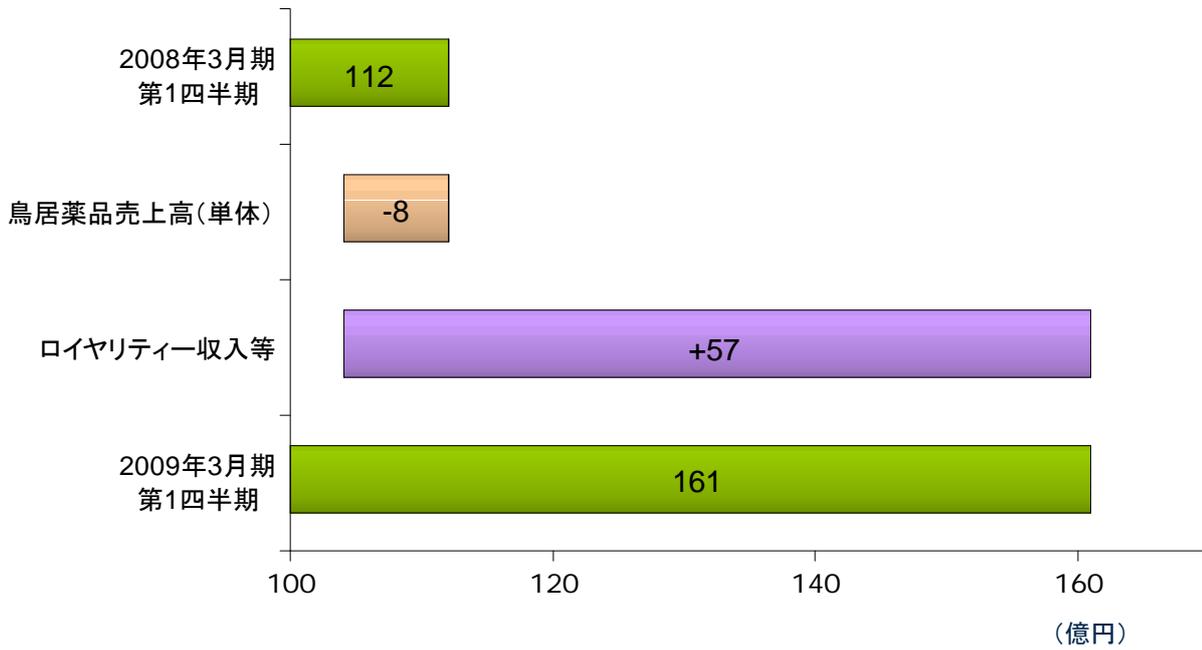
** 2008年3月期の実績については理論値

*** USDと各現地通貨との間の為替影響

(このスライドは空白です)

2009年3月期 第1四半期 実績

■ 医薬事業 売上高

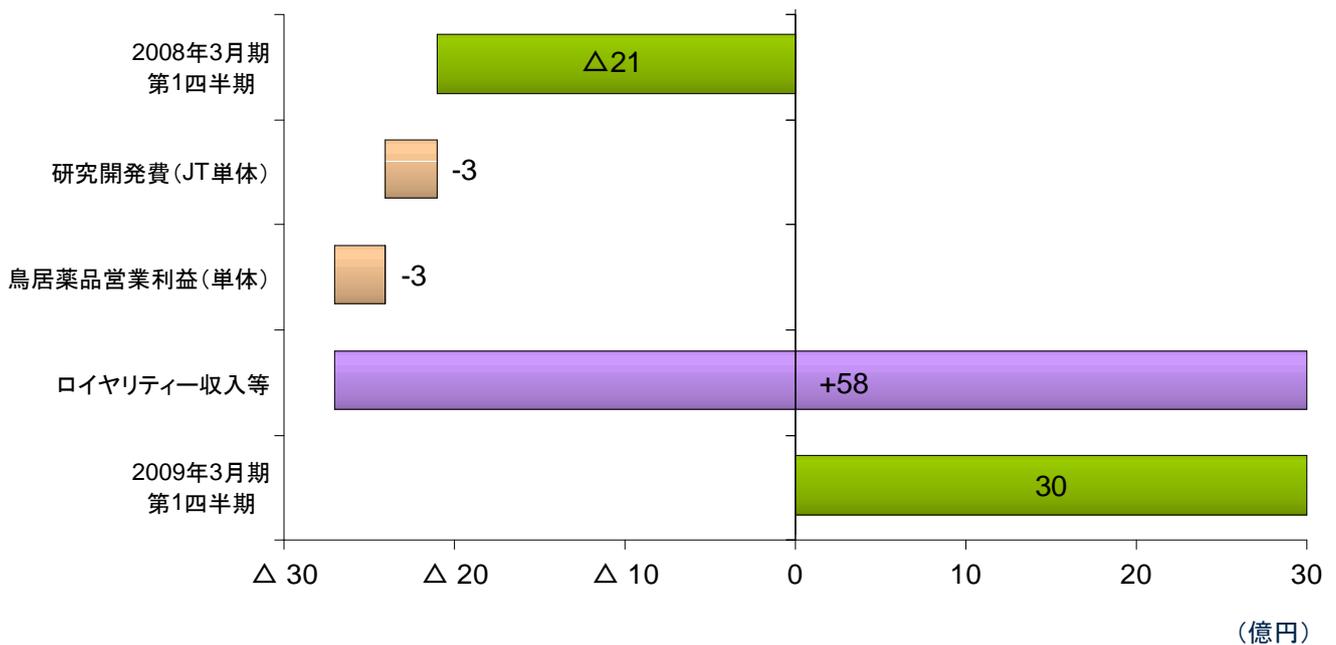


17



2009年3月期 第1四半期 実績

■ 医薬事業 EBITDA

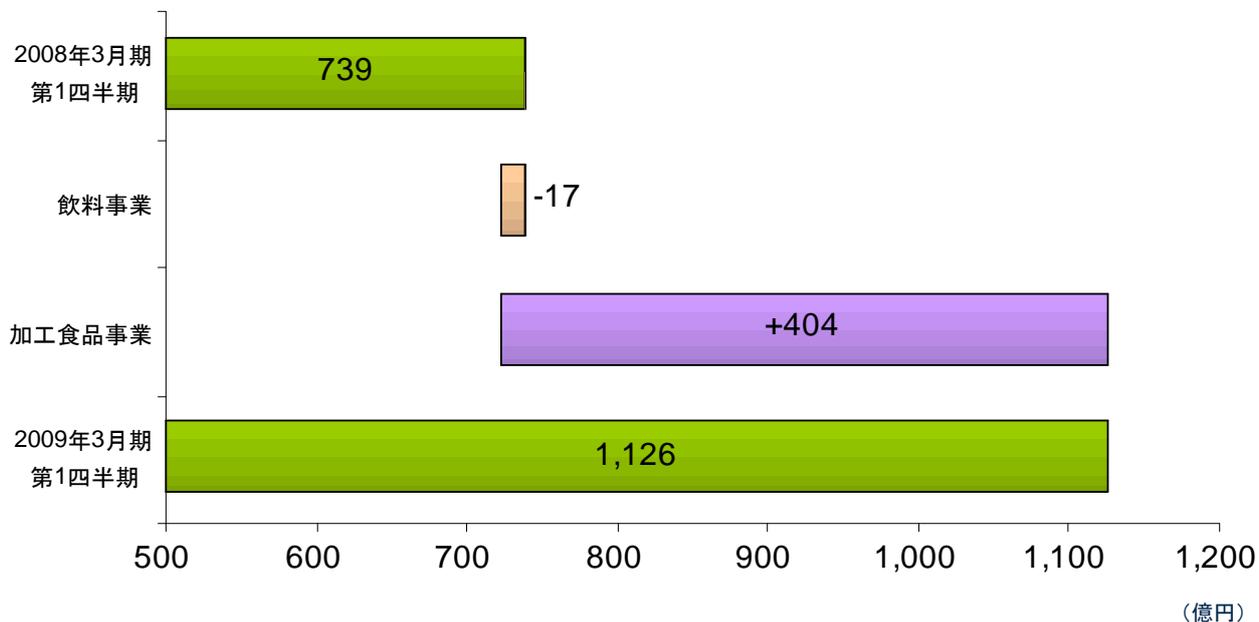


18



2009年3月期 第1四半期 実績

食品事業 売上高

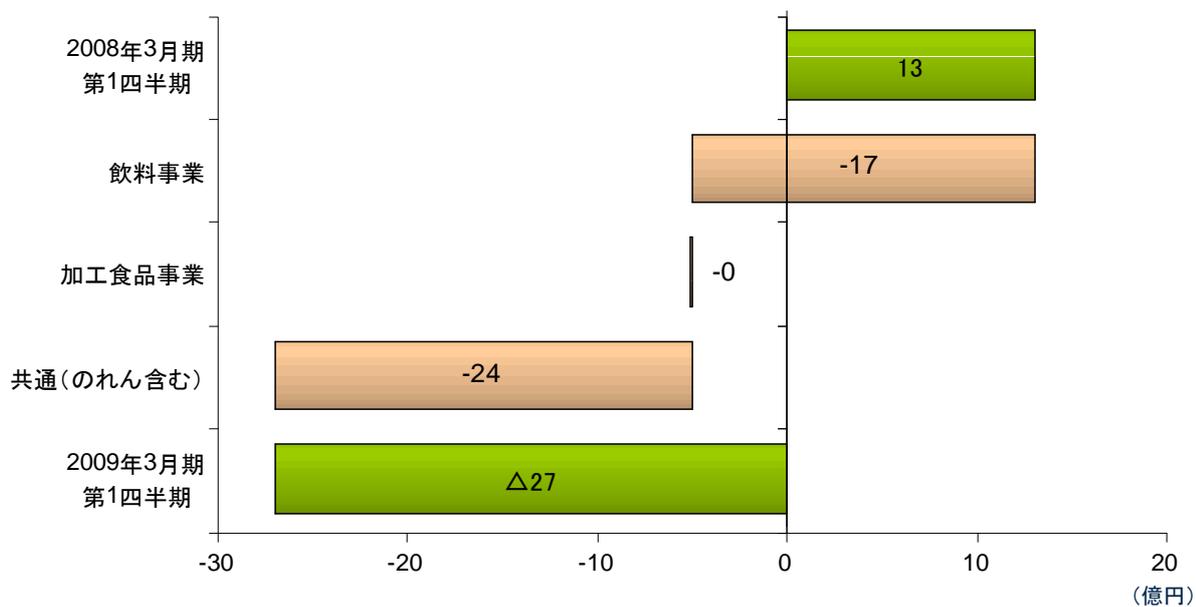


19



2009年3月期 第1四半期 実績

食品事業 営業利益

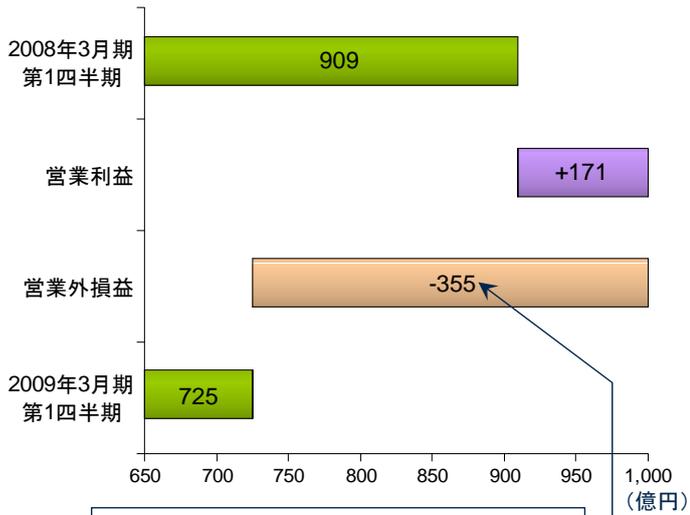


20



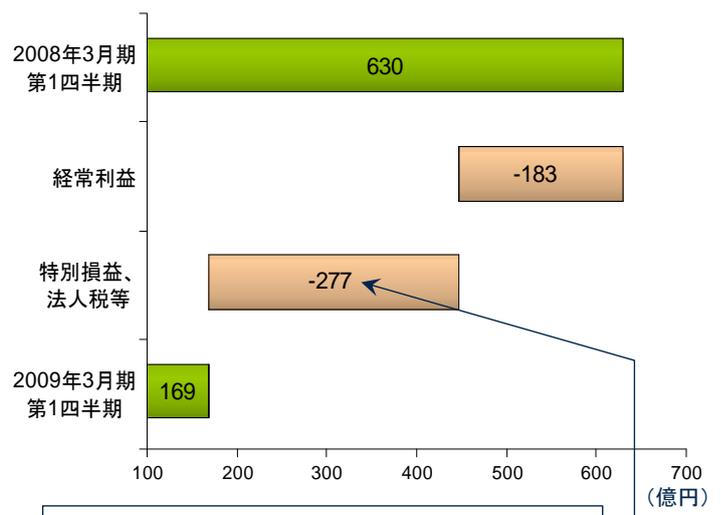
2009年3月期 第1四半期 実績

■ 経常利益



改善要因: たばこ災害援助金の減: 3億円 等
悪化要因: 為替差損の増: 265億円
 支払利息の増: 88億円
 受取利息の減: 17億円 等

■ 当期純利益



改善要因: 固定資産売却損の減: 4億円 等
悪化要因: 減損損失の増: 104億円
 固定資産売却益の減: 93億円
 成人識別自販機導入費用の増: 74億円
 固定資産除却損の増: 43億円 等

(このスライドは空白です)

2009年3月期 第1四半期 連結貸借対照表のポイント

■ 資産の部

(億円)



2008年3月末との比較

■ 流動資産は525億円増加

■ 固定資産は5,679億円減少

- ◆ のれんの減少 △4,386億円
- ◆ 商標権の減少 △805億円

2009年3月期 第1四半期 連結貸借対照表のポイント

■ 負債・純資産の部

(億円)



2008年3月末との比較

■ 負債合計は613億円減少

■ 純資産合計は4,540億円減少

- ◆ 利益剰余金の減少 △2,011億円
- ◆ 為替換算調整勘定の減少 △2,537億円
- 自己資本比率 40.8% → 35.6%

2009年3月期 第1四半期 決算データ集(1)

1. 売上高の内訳

(単位:億円)

	07年6月期	08年6月期	増減
全社税込売上高 ^(注1)	12,197	17,198	5,000
国内たばこ事業	8,567	8,426	△ 141
除く輸入たばこ	5,529	5,425	△ 104
海外たばこ事業 ^(注1)	2,725	7,433	4,708
除く物流事業	2,725	6,673	3,948
全社税抜売上高 ^{(注1)(注2)}	4,233	5,717	1,484
国内たばこ事業 ^(注2)	1,825	1,779	△ 46
海外たばこ事業 ^{(注1)(注2)}	1,502	2,600	1,097
医薬事業	112	161	49
食品事業	739	1,126	387
飲料事業	483	466	△ 17
加工食品事業	255	659	404
その他事業	53	50	△ 2

(注1): 海外たばこ事業は、1-3月期の実績

(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ、海外たばこ事業の物流事業を除く

2. 葉たばこ評価洗替差損益^(注)

(単位:億円)

	07年6月期	08年6月期	増減
葉たばこ評価洗替差損益	△ 10	△ 10	0

(注): マイナス表示の場合は評価益

3. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位:億円)

	07年6月期	08年6月期	増減
販売費及び一般管理費	1,454	2,148	693
人件費 ^(注)	414	579	164
広告宣伝費	43	53	9
販売促進費	303	360	56
研究開発費	102	112	9
減価償却費	141	224	83
その他	449	818	369

(注): 人件費=報酬+給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

4. 事業セグメント別EBITDA^(注1)

(単位:億円)

	07年6月期	08年6月期	増減
全社EBITDA	1,266	1,806	540
営業利益	933	1,104	171
減価償却費 ^(注2)	332	701	369
国内たばこ事業EBITDA	826	755	△ 70
営業利益	624	558	△ 65
減価償却費 ^(注2)	202	197	△ 4
海外たばこ事業EBITDA ^(注3)	379	947	567
営業利益	294	522	227
減価償却費 ^(注2)	84	424	340
医薬事業EBITDA	△ 21	30	52
営業利益	△ 29	21	51
減価償却費 ^(注2)	7	8	1
食品事業EBITDA	25	18	△ 6
営業利益	13	△ 27	△ 41
減価償却費 ^(注2)	11	45	34
その他事業EBITDA	61	51	△ 9
営業利益	31	25	△ 6
減価償却費 ^(注2)	29	26	△ 2

(参考)

(単位:百万ドル)

	07年6月期	08年6月期	増減
海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティ支払前)	351	948	597

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費^(注2)

(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

(注3): 海外たばこ事業は、1-3月期の実績

5. 主要投資案件の諸償却費

(単位:億円)

	07年6月期	08年6月期	償却年数	終了
JT				
旧RJRI関連				
商標権	73	73	10年	'09年4月
特許権	4	-	8年	'07年4月
加ト吉				
のれん	-	22	5年	'12年12月

(単位:百万ドル)

	07年3月期	08年3月期	償却年数
JTインターナショナル			
旧RJRI及び旧Gallaher関連			
商標権 ^(注)	15	71	主に20年
のれん	-	226	20年

(注): 商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

6. 資本的支出

(単位:億円)

	07年6月期	08年6月期	増減
資本的支出	264	203	△ 60
国内たばこ事業	155	82	△ 72
海外たばこ事業 ^(注)	68	64	△ 4
医薬事業	3	8	4
食品事業	12	28	16
その他事業	29	17	△ 11

(注): 海外たばこ事業は、1-3月期の実績

7. 手元流動性^(注)

(単位:億円)

	08年3月末	08年6月末	増減
手元流動性	2,188	2,185	△ 3

(注): 手元流動性=現金+有価証券+現先

8. 有利子負債^(注)

(単位:億円)

	08年3月末	08年6月末	増減
有利子負債	13,892	13,775	△ 117

(注): 有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金

9. 主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	07年6月期	08年6月期	増減
JT販売数量 ^(注)	427	420	△ 6 億本
国内総需要	658	648	△ 10 億本
JT販売数量シェア	64.9%	64.9%	0.0%pt
JT千本当税込売上高	12,698	12,699	1 円
JT千本当税抜売上高	4,056	4,056	0 円
(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2007年6月期8億本、2008年6月期10億本。			
【海外たばこ事業】	07年3月期	08年3月期	増減
販売数量	577	1,039	461 億本
GFB販売数量	355	556	201 億本
連結円ドルレート	119.45	105.25	△ 14.20 円
【医薬事業】	07年6月期	08年6月期	増減
研究開発費(単体)	55	58	3 億円
【食品事業-飲料事業】	08年3月末	08年6月末	増減
自動販売機台数 ^(注)	257,000	258,000	1,000 台
うちマーキング機	35,500	35,000	△ 500 台
うちコンビ機	71,500	73,500	2,000 台

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・フック等)及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いはながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

2009年3月期 決算データ集 (2)

2009年3月期連結業績予想(前年実績比較)

(単位:億円)

	08年3月期 実績	09年3月期 見込	増減
税込売上高	64,097	66,100	2,002
EBITDA	6,020	5,930	△ 90
営業利益	4,305	3,110	△ 1,195
経常利益	3,626	2,780	△ 846
当期純利益	2,387	1,480	△ 907
ROE(株主資本利益率)	11.8%	7.7%	△4.1%pt
フリーキャッシュフロー(注)	△ 14,937	2,650	17,587

(注):フリーキャッシュフロー=(営業活動CF+投資活動CF)但し、以下の項目を除外する。

営業活動CFから

受取配当金/受取利息とその税影響額(42%)

支払利息とその税影響額(42%)

投資活動CFから

有価証券取得による支出/有価証券売却による収入

投資有価証券取得による支出/投資有価証券売却による収入/その他

上記の計算方式に従って計算したフリーキャッシュフローと表中のフリーキャッシュフローとの差は投資有価証券の取得及び売却に含まれる事業投資株式によるもの。

(単位:億円)

	08年3月期 実績	09年3月期 見込	増減
資本的支出	1,295	1,490	194
国内たばこ事業	572	630	57
海外たばこ事業	484	560	75
医薬事業	42	30	△ 12
食品事業	60	230	169
その他事業	147	40	△ 107

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	08年3月期 実績	09年3月期 見込	増減
税込売上高	64,097	66,100	2,002
国内たばこ事業	33,623	31,650	△ 1,973
除く輸入たばこ	21,692	20,490	△ 1,202
海外たばこ事業	26,399	28,960	2,560
除く物流事業	23,810	26,180	2,369
医薬事業	490	445	△ 45
食品事業	3,364	4,860	1,495
EBITDA	6,020	5,930	△ 90
国内たばこ事業	3,067	2,610	△ 457
海外たばこ事業	2,707	3,010	302
医薬事業	△ 62	△ 80	△ 17
食品事業	83	260	176
営業利益	4,305	3,110	△ 1,195
国内たばこ事業	2,223	1,730	△ 493
海外たばこ事業	2,053	1,440	△ 613
医薬事業	△ 96	△ 120	△ 23
食品事業	6	△ 40	△ 46

(単位:円)

	08年3月期 実績	09年3月期 見込	増減
1株当り年間配当金	4,800	5,200	400
配当性向	19.3%	33.7%	14.4%pt
(のれん調整後)	19.0%	19.9%	0.9%pt

業績予想の主な前提条件

国内たばこ事業

(単位:億円)

	08年3月期 実績	09年3月期 見込	増減
販売数量	1,677	1,590	△ 87

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

海外たばこ事業

(単位:億本、円)

	07年12月期 実績	08年12月期 見込	増減
販売数量	3,856	4,500	644
GFB販売数量	2,032	2,430	398
1USDドル	117.85	100.00	△ 17.85

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業

(単位:百万ドル)

	償却費算定の前提 となるのれん金額	09年3月期 償却見込	償却年数	終了
旧RJRI及び旧Gallaher関連	18,159	908	20年	'27年3月

(注):のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

食品事業

(単位:億円)

	償却費算定の前提 となるのれん金額	09年3月期 償却見込	償却年数	終了
加ト吉	450	90	5年	'12年12月

主要投資案件の商標権償却費

JT

(単位:億円)

	08年3月期 実績	09年3月期 償却見込	償却年数	終了
旧RJRI関連	293	293	10年	'09年4月

JTインターナショナル

(単位:百万ドル)

	07年12月期 実績	08年12月期 償却見込	償却年数	終了
旧RJRI及び旧Gallaher関連	220	284	主に20年	'27年3月

(注):商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

【当資料取扱上の注意点】

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

国内JT製品データ集

(注)：表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関係数

1. 四半期別販売数量 (単位: 億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	540	368	446	393	1,749
2007年度	427	430	437	382	1,677
2008年度	420				

2. 四半期別定価代金 (単位: 億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	7,403	5,475	6,646	5,870	25,395
2007年度	6,367	6,414	6,516	5,700	24,998
2008年度	6,269				

(注)：販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当売上高 (単位: 円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	11,663	12,677	12,688	12,699	12,371
2007年度	12,698	12,694	12,704	12,702	12,699
2008年度	12,699				

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別千本当税抜売上高 (単位: 円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	3,852	4,050	4,050	4,056	3,990
2007年度	4,056	4,053	4,063	4,057	4,057
2008年度	4,056				

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当税抜売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

5. 四半期別シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	65.5	64.2	64.7	64.5	64.8
2007年度	64.9	64.5	65.3	65.0	64.9
2008年度	64.9				

伸張セグメントシェア

1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

①JT タール1mg製品市場シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	12.4	12.5	13.3	13.6	12.9
2007年度	13.9	13.7	14.0	14.3	14.0
2008年度	14.5				

②セグメント内シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	61.3	60.9	62.4	62.2	62.2
2007年度	62.0	61.6	62.1	62.0	62.0
2008年度	62.4				

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JT メンソール製品市場シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	6.7	6.9	6.7	7.1	6.8
2007年度	7.2	7.5	7.2	7.5	7.4
2008年度	7.5				

②セグメント内シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	35.0	34.1	33.8	34.8	34.8
2007年度	34.9	35.2	34.0	34.4	34.4
2008年度	34.3				

3. 四半期別320円以上製品セグメントシェア

①JT 320円以上製品市場シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	5.7	5.4	5.2	5.5	5.5
2007年度	5.6	5.2	5.4	5.3	5.4
2008年度	5.2				

②セグメント内シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	24.3	22.5	22.6	23.2	23.2
2007年度	23.5	22.0	22.5	21.9	21.9
2008年度	21.7				

* 2006年4-6月期以前は300円以上製品セグメント

4. 四半期別D-spec製品シェア (単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2006年度	4.12	3.84	3.85	4.34	4.04
2007年度	4.41	4.10	4.77	5.13	4.59
2008年度	5.10				

* ビアニッシモ及びプレミアは2006年3月より、ベヴェル・フレアは2006年12月より、D-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目（2008年7月31日現在）

開発名	開発段階	適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase2	脂質代謝異常	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	高脂血症	MTP（ミクロソームトリグリセリド転送蛋白）阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる高脂血症治療薬	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害するインテグラーゼ阻害薬	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-302 (経口)	海外：Phase2	脂質代謝異常	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	
JTT-305 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase1	骨粗鬆症	CaSR（カルシウム感知受容体）拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する骨粗鬆症治療薬	
JTT-552 (経口)	国内：Phase2	高尿酸血症	URAT1（尿酸トランスポーター1）阻害	腎臓における尿酸の再吸収に関与するURAT1の働きを阻害することにより、尿中への尿酸排泄を促進させ、血中尿酸値を低下させる高尿酸血症治療薬	
JTT-651 (経口)	国内：Phase1	2型糖尿病	GP（グリコーゲンホスホリラーゼ）阻害	グリコーゲン分解酵素であるGPの働きを阻害することにより、肝臓から血中への糖放出を抑制し、血糖を低下させる糖尿病治療薬	
JTS-653 (経口)	国内：Phase1	鎮痛、過活動膀胱	TRPV1（バニロイド受容体1）阻害	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する鎮痛薬・過活動膀胱治療薬	
JTT-654 (経口)	海外：Phase1	2型糖尿病	HSD-1（11βヒドロキシステロイド脱水素酵素）阻害	HSD-1の働きを阻害することにより、過剰なグルココルチコイド作用を抑制する糖尿病治療薬	

前回（2008年5月1日）公表時からの変更点：

JTT-553の開発中止

JTK-652の開発中止

JTK-303について、導出先のギリアド・サイエンシズ社がPhase3試験を開始したことから、権利欄に記載